

ウトロ地域マリンビジョンニュース

発行・編集・ウトロ地域マリンビジョン協議会事務局

ウトロ地域マリンビジョンニュースは、町民のみなさんと一緒にウトロ地域で水産業を核とした地域振興を進める「ウトロ地域マリンビジョン計画」の推進状況などをお知らせするお便りです。

ウトロ地域マリンビジョン協議会 からの報告

平成25年12月18日、12月25日、平成26年1月17日にウトロ地域マリンビジョン協議会観光部会を開催しました。観光部会では人工地盤等のうち観光客の使用が主となる施設について、協議が行われました。

平成25年12月18日

観光関係者・地域関係者7名出席

人工地盤の利活用について協議を行った。

○2階見学窓

110cm程度の塀・柱・ひさしだけの構造で、どこからでも見学可能な形状とし、ガラスなどは使わないこととする。

○中央部の階段

衛生管理エリアへ通じるので漁業者専用とする。

○特定目的岸壁に降りる階段

現在の予定は幅1.5mであるが、観光関係者の要望もあり、どの程度まで拡げられるか検討する。

○南側の階段

観光関係者の要望で、ユニバーサルデザインとする方向で検討する。

○2階駐車場

基本的には漁業者が利用するが、観光利用などの可能性についてはマリンビジョン協議会で検討していく。



平成25年12月25日

観光関係者・地域関係者8名出席

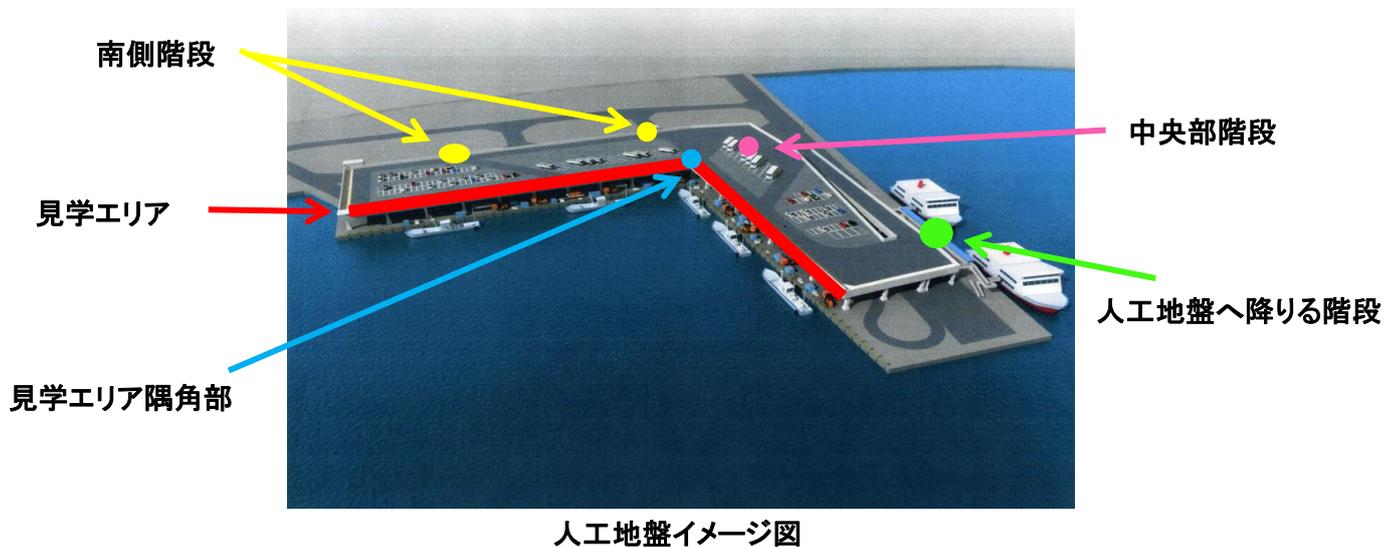
人工地盤の視察を行ったあと、道の駅にて意見交換を行った。

○2階見学エリア

110cmの高さの塀だけでは子供や車椅子の方が見学できないので隅角部の一部を柵にしてほしいとの要望があった。

○特定目的岸壁に降りる階段

計画上は上り口が岸壁側とは反対の向きになっているため、向きを変えてほしいとの要望があった。



人工地盤イメージ図

平成26年1月17日

観光関係者・地域関係者6名出席

工事の関係から、検討を急ぐ点について協議を行った。

○特定目的岸壁に降りる階段

階段幅:これまで1.5mとされていたが、形状の再検討により1.96mに拡げることとなった。

上り口:岸壁側とは反対向きになっていたが、形状の再検討により岸壁側となった。
 その他:手すりについては両側に設けることとし、階段へのペイントによって昇降区分を行う。

○2階見学エリア

110cmの高さの塀どこからでも見学でき、車椅子等でも見学可能なように隅角部の一部柵とする。

ユニバーサルデザイン(UD)

文化・言語・国籍の違い、老若男女といった差異、障害・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計(デザイン)をいう。

アメリカノースカロライナ州立大学のロナルド・メイス氏によって提唱された概念であり、「できるだけ多くの人々が利用可能であるようなデザインにすること」が基本概念である。対象を障害者に限定していない点が、一般に言われる「バリアフリー」とは異なる。

ユニバーサルデザインの7原則

1. どんな人でも公平に使えること
2. 使う上での柔軟性があること
3. 使い方が簡単で自明であること
4. 必要な情報がすぐに分かること
5. うっかりミスを許容できること
6. 身体への過度な負担を必要としないこと
7. アクセスや利用のための十分な大きさと空間が確保されていること